# ナショナルバイオリソースプロジェクト

平成28年度予算額 (平成27年度予算額

: 1,376百万円 : 1,376百万円)

※予算額は補助金事業分(理化学研究所運営費 交付金事業分は含まない。)

## 概要

実験動植物や微生物等のバイオリソース(研究開発の材料としての動物・植物・微生物の系統・集団・組織・細胞・遺伝子材料等及びそれらの情報)のうち、国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、大学・研究機関等にリソース・情報を提供。

(参考)「医療分野研究開発推進計画」(平成26年7月22日 健康・医療戦略推進本部決定)

- ●ライフサイエンス研究等に係る研究基盤の整備
  - ・ライフサイエンス研究の発展に向け、重要かつ質の高いバイオリソースを、中核的拠点に戦略的に収集・保存し、研究機関 に提供する。
- ○日本全国に散在するバイオリソースを中核的拠点へ集約し、効率的かつ適正な品質管理を行う。 また、バイオリソースを利用する際に効率的なアクセスを可能とする。
- ○厳格な品質管理のもと、取り違えや微生物汚染のない、実験の再現性を確保した世界最高水準の バイオリソースを提供することで、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する。
- ○利用者は送料等の負担により利用可能。
- 〇ゲノム配列を解析して遺伝子情報を付加するなど、バイオリソースの価値を向上させる。

# 大学・研究機関 リソース・ 情報の提供 ライフサイエンス研究 がん 創薬 免疫 感染症 対ん 創薬 免疫 感染症 難病 発生・再生 脳 食料

先から創出された研究 成果(論文数) 2007年 1,516報 2008年 1,669報

2007年 1,516報 2008年 1,669報 2009年 1,788報 2010年 2,049報 2011年 2,061報 2012年 2,229報 2013年 2,389報

2014年 2.565報

本事業のリソース提供

・健康長寿社会の実現 ・世界に先駆けて超高齢化 社会を乗り越えるモデルを 世界に発信

## 【事業内容】

動物 (マウス、ラット、ショウジョウバエ、線虫、 カイコ、メダカ、ゼブラフィッシュ、ニホンザル、 カタユウレイボヤ、ニワトリ・ウズラ、 ゾウリムシ、ネッタイツメガエル)

(平成24~28年度)

ナショナルバイオリソースプロジェクト

29種

植物 (シロイヌナズナ)、イネ、コムギ、オオムギ、 藻類、広義キク属、アサガオ、トマト ミヤコグサ・ダイズ)

**■微生物・細胞等(細胞性粘菌、病原微生物、** 

一般微生物、原核生物(大腸菌・枯草菌)、酵母、 遺伝子材料、ヒト・動物細胞、ヒト臍帯血幹細胞

※囲み文字は、理研運営費交付金事業



ゲノム情報等整備プログラム (ゲノム解析等による付加価値向上)

## 中核的拠点整備プログラム



酵母

大阪市立大学 大学院理学研究科

### 遺伝子材料



理化学研究所BRC (運営費交付金)



真菌医学研究センター



(運営費交付金)

原核生物(大腸菌・枯草菌)

宮崎大学

農学部

九州大学

名古屋大学

京都大学

大学院農学研究科

大学院農学研究院



情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

#### ヒト・動物細胞



理化学研究所BRC (運営費交付金)

#### ヒト臍帯血幹細胞 (第3期採択)



東海大学 医学部

計:29リソース